

## 事前課題 一覧 ①

### 【都道府県】

	都道府県名	ページ
1	北海道	1
2	青森県	2
3	岩手県	3
4	宮城県	4
5	秋田県	調整中
6	山形県	5
7	福島県	6
8	茨城県	7
9	栃木県	8
10	群馬県	9
11	埼玉県	10
12	千葉県	11
13	東京都	調整中
14	神奈川県	12
15	新潟県	13
16	富山県	14
17	石川県	15
18	福井県	16
19	山梨県	17
20	長野県	18
21	岐阜県	19
22	静岡県	20
23	愛知県	21
24	三重県	22

	都道府県名	ページ
25	滋賀県	23
26	京都府	調整中
27	大阪府	24
28	兵庫県	25
29	奈良県	26
30	和歌山県	27
31	鳥取県	28
32	島根県	29
33	岡山県	30
34	広島県	31
35	山口県	32
36	徳島県	調整中
37	香川県	33
38	愛媛県	34
39	高知県	35
40	福岡県	36
41	佐賀県	37
42	長崎県	38
43	熊本県	39
44	大分県	40
45	宮崎県	41
46	鹿児島県	42
47	沖縄県	43



平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

北海道

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・精神障がい者地域生活支援センターを中心として長期入院者の地域移行を促進する。

【達成状況】

- ・道内17箇所の精神障がい者地域生活支援センターを設置し、ピアサポーター等を活用しながら、地域移行・地域定着に向けた支援を実施している。
- ・平成30年12月末時点で586名に対して支援を実施し、9名が退院しており、前年度の同時期と比較して、支援者対象者数は125名増であるのに対し、退院者数は14名減となっている。

【目標2】

- ・精神障がい者地域移行研修を通じ、精神障がい者の地域移行に係る理解促進と地域の支援人材の確保に取り組む。

【達成状況】

- ・道内3カ所で専門職等を対象した人材養成研修やピアサポーターを対象とした技術及び知識の向上（カウンセリング技術等の普及）のための研修を開催した。
- ・各障害福祉圏域では、一般住民を含む参加者に対して、精神保健に関する知識の普及と啓発を目的とした研修を開催しており、年度末まで継続して取り組む予定。

2. 平成31年度の実行方針

- 1 精神障がい者地域生活支援センターにおける長期入院者の地域移行・定着促進の取組を継続する。
- 2 精神障がい者地域移行研修を継続し、精神保健に関する普及啓発と人材確保に努める。
- 3 保健・医療・福祉関係者の協議の場を設置することを目的とし、平成32年度に精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業の実施に向け、モデル圏域の選定や保健所、医療機関等の関係機関と連携に取り組む。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

青森県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・モデル圏域（津軽圏域）において保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置する。

【達成状況】

- ・平成30年4月から12月にかけて関係者による協議の場（打合せ会）を4回開催済み。
- ・モデル圏域においては以下の①～⑥の目標を掲げて取り組みを進めている。
  - ①病院管理者の地域移行への理解、②支援関係者による地域移行支援への理解、③数値目標に基づく地域移行の推進、④長期入院患者のデータ分析、⑤市町村自立支援協議会における地域移行部会の設置、⑥ピアサポーター及び支援スタッフの養成。

【目標2】

- ・他圏域に対してもモデル圏域の取り組みを伝達する。

【達成状況】

- ・モデル圏域での第2回打合せ会に、他圏域の保健所担当者を招集し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に関する理解を深めた。
- ・平成31年2月末に開催予定の地域移行研修において、圏域ごとの取り組み状況を再確認する。
- ・

【目標3】

- ・地域移行研修会の開催

【達成状況】

- ・平成31年2月28日、3月1日の2日間で地域移行支援・地域定着支援に関する講義及びグループワークを中心とした研修会を開催予定。

2. 平成31年度の実施方針

- ・全6圏域での協議の場の開催
  - モデル圏域以外ではこれまで年1回の開催だったが、複数回の開催を予定。
- ・モデル圏域でのピアサポーターの更なる養成及び活用の推進
  - 今年度は県として初の養成講座を開催し、12人の当事者が参加した。来年度はピアの具体的な活動につながる取り組みを検討する。
- ・障害福祉計画の目標の達成に向けた取組の推進（目標1の①～⑥を通じて）
  - 1年以上の長期入院患者数（H26 1,979人 → H32 1,652人）
  - 早期退院率（H26 3か月 68%・6か月 84%・1年 91% → H32 69%・84%・90%）

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

岩手県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

・障がい保健福祉圏域ごとに設置している協議の場において、地域の実情に応じたネットワークの強化、支援体制の充実強化を図る。

**【達成状況】**

・障がい保健福祉圏域（9圏域）ごとに「精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡調整委員会（地域委員会）」を設置し、圏域における精神障がい者の地域移行支援に係る体制整備の調整等について協議を行った。  
[会議開催回数] 平成30年度上半期 21回（年間目標値 36回）

**【目標2】**

・地域移行・地域生活支援に関わる支援者の資質向上を図る。

**【達成状況】**

・地域移行・地域生活支援関係者研修（基礎研修）を1回開催し、123名が参加した。  
・地域移行・地域生活支援関係者研修（フォローアップ研修）を1回開催し、80名が参加した。  
・研修企画委員会を1回開催し、今年度の研修の振り返り及び来年度の研修についての意見交換を実施した。

**【目標3】**

・

**【達成状況】**

・  
・  
・  
・

2. 平成31年度の実行方針

・障がい福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて地域の課題を共有した上で、包括ケアシステムの構築に資する取組を推進するため、平成27年度から設置している「地域移行・地域定着推進連絡調整委員会（地域委員会）」を順次、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」の協議の場と位置づけていくとともに、圏域のニーズに応じ、家族支援や研修の開催等に取り組む。  
・研修会を通じ、支援者の資質向上、医療と地域の連携強化を図る。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

宮城県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて議論する場の検討

**【達成状況】**

- ・県全体・圏域における検討では既存の検討部会・会議を活かして実施した。
- ・取組を継続しつつ、630調査から分析し、課題を明らかにするとともに地域移行に向けた取組に活かしたい。

**【目標2】**

- ・地域移行についての事業を継続して実施し、圏域ごとの連携検討・研修を行う

**【達成状況】**

- ・圏域ごとに関係機関が連携して検討することについて理解されたところだが、圏域ごとの取組は様々であるため、県全体での会議等で情報交換しながら進めていく。

**【目標3】**

- ・

**【達成状況】**

- ・
- ・
- ・
- ・

2. 平成31年度 of 取組方針

- ・協議の場として設定した自立支援協議会精神部会や圏域での地域支援会議の開催
- ・630調査を分析し、課題と地域移行への働きかけや事業の強化について検討する。
- ・
- ・

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

山形県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

退院後利用する福祉サービスについての相談件数及び地域生活の継続を図るための相談事業への参加人数の拡大

**【達成状況】**

- ・退院支援委員会への地域支援事業者の参入を促進し、各精神科病院における取組の拡大が図られた。
- ・地域生活継続のための相談事業については、前年度よりも受付期間を延長したことにより利用促進が図られた。また、相談対応人材育成研修について、「精神障害者支援体制加算」の認定研修会とすることで、参加が促進され、地域移行に向けた援助技術の普及が図られた。

**【目標2】**

第66回精神保健福祉全国大会の開催等を通じた地域における理解促進

**【達成状況】**

- ・県内における関係団体ほか、支援事業者や教育関係者等へ広く開催の周知を行い、各方面から多数の参加が得られ、精神保健福祉に関する理解促進が図られた。

**【目標3】**

各圏域の保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置に向けた方針策定

**【達成状況】**

- ・各圏域の中核の役割を担う保健所と機会があるごとに「協議の場」の設置について協議を行ったが、方向性を決定するには至らなかった。今後も引き続き協議を進める。

2. 平成31年度取組方針

- ・各圏域における保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置に向けた具体的検討を推進する。
- ・相談対応人材の育成や困難事例の個別相談の実施を通して地域生活継続を支援する相談支援体制の強化を図る。
- ・多様な精神疾患に対応できる医療提供体制の構築に向けて、精神疾患毎又は圏域毎における具体的な連携体制のあり方などについての協議を開始する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

福島県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・圏域毎の関係機関のネットワークを強化し、圏域毎の地域移行・地域定着を推進する。

【達成状況】

- ・圏域毎の地域移行・地域定着推進体制を強化するため、県内6圏域において「圏域ネットワーク強化研修」を2回実施した。
- ・「みんなで進める精神障がい者地域移行・地域定着促進研修会」で、各機関毎の課題や今後の方向性を共有した。

【目標2】

- ・ピアサポーターの雇用を含めた活躍の場の増加を目指す。

【達成状況】

- ・ピアサポーター活動支援事業（委託事業）により、ピアサポーター養成研修を実施。
- ・精神科病院におけるピアサポーター活動支援研修・長期入院者とピアサポーターの交流会を実施。（5病院）

【目標3】

- ・アウトリーチ推進事業を通じて多機関による協議の場をつくる。

【達成状況】

- ・7月より、アウトリーチ推進事業を精神保健福祉センターにて開始。ケースの支援を通して圏域ごとの多機関ネットワークによるアウトリーチ支援の普及を目指した。
- ・地域における支援力向上のため、アウトリーチ推進事業研修会を実施し、多機関多職種で事例検討を行った。

2. 平成31年度の実行方針

- ・地域移行・地域定着促進検討会および圏域ネットワーク強化研修を活用し、各圏域における協議の場を醸成していく。
- ・圏域毎の関係機関のネットワーク強化により、圏域毎の地域移行を推進する。
- ・ピアサポーターの活動の場拡大に向けた、病院・事業所向け研修やピアサポーターのスキルアップ研修等を実施する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

茨城県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・各保健所圏域の地域移行支援連絡協議会をより活性化させ、圏域の課題、目標値を明確化し活動する。

【達成状況】

- ・県内の精神科病院長及び保健所長を対象とした代表者会議の開催（10/2 71人参加）により、精神障害者の地域移行に対する県の取り組みについて説明し、各保健所圏域の地域移行支援連絡協議会やモデル圏域（水戸保健所、筑西保健所）における精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業等への理解と協力を依頼した。
- ・各保健所においては、保健・医療・福祉関係者による地域移行支援連絡協議会において、「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」に基づく退院後支援体制や地域連携パス「いばらき版 ころの生活支援手帳」を活用した連携体制、地域で精神障害者を支える基盤整備に向けた検討を行い、連絡協議会の活性化を図っている。
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業により、モデル圏域（水戸保健所・筑西保健所）における保健・医療・福祉関係者による地域移行支援連絡協議会（実務者会議）の活性化や、インフォーマルを含めた地域の精神障害福祉サービスの整理は進んできたが、目標値の明確化には至っていない。

【目標2】

- ・県自立支援協議会に地域移行部会を設置し、県全体の課題及び施策を検討する。

【達成状況】

- ・施設等に入所・入院している精神障害者の地域移行及び地域包括ケアシステムの構築に向けた施策の検討を行うため、茨城県自立支援協議会地域移行支援部会を設置。
- ・開催回数は、検討の結果、年1回となる。3月末の第1回会議開催に向けて、現在、部会委員等の調整、準備を進めている。

【目標3】

【達成状況】

2. 平成31年度の実行方針

- ・モデル圏域による精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業を継続し、モデル圏域内各市町村における協議の場づくりを支援するとともに、課題の整理及び解決に向けた取り組みを促進する。
- ・モデル圏域の取組において有効であった手法等については、他保健所圏域に広げるなど、県全体の精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の促進を図る。
- ・県自立支援協議会地域移行支援部会、各保健所精神障害者地域移行支援連絡会議、各市町村の協議の場において抽出された課題の共有等、県—保健所圏域—市町村が連携しながら地域課題を解決できる体制の整備を進める。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

栃木県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標】

- ・地域移行・地域定着支援に携わる人材の育成
- ・病院と地域の連携による支援ネットワークの構築・それぞれの役割の明確化

【達成状況】

○精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修の実施

従来は中核人材のみを対象としていたが、障害福祉サービス報酬改定により加算等の対象の研修となったことから、今年度の県自立支援協議会相談支援部会の地域移行WGにて研修体系の見直しを行った。

(基礎編) 平成30(2018)年7月27日開催 参加者 84名

(中核人材編) 平成31(2019)年1月16日開催 参加者 109名

○地域移行WG開催 年5回(上記人材育成の研修の企画・運営)

○精神障害者地域移行業務担当者会議 平成30(2018)年7月10日開催 参加者10名

圏域ごとに今年度の取組ロードマップを作成した。

(各保健所にて)

○保健所における精神障害者地域移行・地域定着推進協議会の運営

○ピアサポートの活用

○個別の地域移行支援、普及啓発、家族教室等

2. 平成31年度取組方針

○県・圏域・市町ごとの協議の場について、既存の会議の活用も含めた位置づけの明確化、効果的な協議に向けた工夫(データの活用等)を行う。

○圏域ごとに地域の実情が異なるため、新たな圏域をモデル圏域とすることで広く取組推進を図る。

一方で現在のモデル圏域と共通の課題を抱えている圏域もあるため、良い取組は波及できるように、担当者や圏域の中核人材で他圏域の取組を共有できる機会をつくっていく。

○精神障害者の退院後支援の試行運用を更に進め、地域におけるネットワーク構築の一助とする。

○引き続き、精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修を基礎編と中核人材編の2本立てで行う。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

群馬県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ピアサポート活用事業の促進

【達成状況】

- ・養成講座受講者15名
- ・ピアサポーター派遣事業を活用していなかった病院へ働きかけ、ピアサポーターを活用した退院促進への啓発を実施。
- ・
- ・

【目標2】

- ・

【達成状況】

- ・
- ・
- ・
- ・

【目標3】

- ・

【達成状況】

- ・
- ・
- ・
- ・

2. 平成31年度の方針

- ・一部地域における、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置。
- ・精神障害者地域移行支援従事者向け研修の実施。
- ・ピアサポート活用事業の促進。
- ・

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

埼玉県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

・保健、医療、福祉の関係者による協議の場を開催し、重層的な連携を図る。

①県の協議の場：年2回開催（既存） ②保健所ごとの協議の場：全13県保健所の開催（新規）

【達成状況】

①県の協議の場：第1回ア 第5期埼玉県障害者支援計画に基づく成果目標を共有

イ 埼玉県における地域包括ケアシステムに係る個別支援ニーズの考え方を整理

第2回ア 住まいの場の確保支援について協議

イ ピアサポートの活用について協議

ウ 平成31年度地域包括ケアシステム構築に向けた人材育成研修について協議

②保健所ごとの協議の場

平成31年1月末現在で全13県保健所にて保健、医療、福祉の関係者による協議の場を開催した。

③関係者連絡会を開催し、県及び保健所ごとの協議の場の情報伝達や課題の共有を行った。

【目標2】

・精神障害者福祉型訪問支援強化事業（アウトリーチ）の実施（モデル事業）

【達成状況】

・平成30年4月から事業開始し、平成30年12月末までに実42名の対象者に訪問支援を実施した。

【目標3】

・多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制整備事業の実施

【達成状況】

① 依存症

・平成30年4月に依存症治療拠点機関として1医療機関を指定した。

・平成30年4月に依存症専門医療機関として3医療機関を指定した。

② てんかん

・平成30年11月にてんかん診療拠点機関として1医療機関を指定した。

2. 平成31年度の取組方針

・精神障害者福祉型訪問支援強化事業（モデル事業2年目）の事業評価を行い、有用性を評価する。

・精神障害者の地域包括ケアシステム構築を推進するため、医療、保健、福祉の連携に係る研修について、精神保健福祉センターの技術協力を得て各保健所で実施する。

・多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の整備を図るため、引き続き依存症専門医療機関の募集を行うとともに、他の精神疾患等にかかる医療連携体制の整備を検討する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

千葉県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・全圏域（15圏域）で代表者会議を設置し、開催する。

**【達成状況】**

- ・全圏域（15圏域）で代表者会議を設置のうえで1回程度会議を開催し、来年度の取組の方向性について議論等を行い、方向性の確認を行った。

**【目標2】**

- ・全圏域（15圏域）で実務者会議を設置し、開催する。

**【達成状況】**

- ・全圏域（15圏域）で実務者会議を設置のうえで月1回程度会議を開催し、地域の課題やニーズについて議論を行い、各圏域の課題やニーズ、取組の方向性等について代表者会議へ報告を行った。

**【目標3】**

- ・各圏域で前年度まで行ってきた取組を継続する。

**【達成状況】**

- ・地域移行関係職員に対する研修や事例検討会等を全圏域で実施。
- ・ピアサポートについて養成講座や体験談発表等活用実績のある6圏域に加え、新たに2圏域においてピアサポート養成講座を開催し取組の拡大が図られた。

2. 平成31年度の取組方針

- ・各圏域の代表者会議で合議された取組方針に従って、実務者会議等において各取組をすすめていく。
- ・取組推進にあたっては、精神保健福祉センター、保健所、市町村との連携を強化していく。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

神奈川県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ 保健・医療・福祉関係者の協議の場については、保健所が有するネットワークや機能、既存の会議等を活用することとし、保健所ごとに協議の場を設置する。地域包括ケアシステムの構築に向けて、機能強化を図る。

【達成状況】

- ・ 県内すべての保健所に協議の場を設置した（（政令市を除いた県域8か所、保健所設置市3か所））。

【目標2】

- ・ 協議の場を通して、関係機関との連携を図り、研修会の開催、積極的な普及啓発を実施し、所管域における長期入院者数の把握や個別支援、事例の共有を通じた関係機関の連携強化等を図っていく。

【達成状況】

- ・ 圏域ごとに、地域包括ケアシステム、地域移行にかかる理解促進・普及啓発を目的とした研修会を実施した（上半期実施5か所）。
- ・ 圏域によっては、協議の場において、精神科病院の協力のもと所管域における各病院の長期入院者数を共有し、そのリストの中から退院に向けた個別の事例検討を実施した。病院ごとに配置したアドバイザーによる助言を得ながら、今後の支援の在り方、課題に向けた各機関の役割等の整理、検討を図った。
- ・ 関係者が、各機関の役割を認識し、協働で退院支援に取り組むためのツールとして、事例を踏まえた「個別支援フロー」を作成した（1か所）。

【目標3】

- ・ ピアサポーターを活用した地域移行の促進、個別給付の活用

【達成状況】

- ・ ピアサポーターによる長期入院者に向けた病院訪問活動から、個別給付による地域移行支援に1事例つながった。現在、ピアサポーターが退院に向けた個別支援に取り組み、協議の場において、活動の取組・進捗状況を共有しながら、関係者との協働による退院支援が進んでいる（1か所）。

2. 平成31年度の実行方針

- ・ 圏域ごとの取組状況にバラつきがあることから、平成30年度に引き続き、「構築推進事業」を活用しながら、保健所ごとの（状況に応じて障がい福祉圏域ごと）研修会の実施、積極的な情報提供・普及啓発、個別の事例検討を通じた関係機関との連携強化・地域づくり、長期入院者の地域移行につながる仕組みづくりの検討などを進めていく。
- ・ ピアサポーターの力をさらに活かした地域包括ケアシステムの構築を目指す。そのため、現在、県域5か所で行っているピアサポーターを活用した「精神障害者地域移行・地域定着支援事業」（既存事業）のさらなる充実、実施エリア（事業委託先、訪問病院先）の拡大に向け、関係機関との調整を図っていく。  
また、保健所ごとに実施する推進事業の取組みとの役割整理、連携を進めることで、地域移行・定着支援に向けた積極的なピアの活用、相互の事業の活性化を図り、地域包括ケアシステムの構築を目指す。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

新潟県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置促進

【達成状況】

- ・30市町村のうち14市町村が協議の場を設置済み（平成31年1月末現在）。
- ・県の相談支援体制ビジョンについて説明会を実施（市町村・地域振興局職員等関係者対象）。地域包括ケアシステム構築のために、市町村（基幹相談支援センター）が主体となっていく事、県としてのサポート体制等について説明を行った。

【目標2】

- ・地域相談支援（地域移行支援）支給決定件数を増やす取組み（年間15件）

【達成状況】

- ・新規支給決定件数7件（平成30年12月末現在）。
- ・圏域ごとの協議の場、担当者会議、研修会等を活用し、目標件数の周知を実施した。
- ・地域移行支援研修会の中で支給決定件数の多い圏域の実践報告を実施。実践報告をふまえ、他圏域でも行動計画の作成を行った。
- ・今まで支給決定が無かった市町村でも、支給決定が行われるようになった。

【目標3】

- ・ピアサポートを活用した入院患者の退院意欲の喚起

【達成状況】

- ・各圏域でピアサポートを活用した事業を実施した（精神科病院と地域の連絡会、一般市民向けフォーラム等での体験発表等）。
- ・当事者が参加した地域移行・地域定着支援事業に関する普及啓発用DVDの作成、活用を行った。

2. 平成31年度の取組方針

〈市町村、基幹相談支援センターを中核とした相談支援体制の整備〉

- ・県の相談支援体制、人材育成に関するビジョンの作成。
- ・市町村（基幹相談支援センター）へのサポート体制の検討。

〈官民協働で企画・運営を行う地域移行支援研修会を圏域単位で実施〉

- ・平成26年度より継続して開催している地域移行支援研修会（病院ごとに医療・福祉・行政職員が多職種チームとなって行動計画を作成）を圏域単位で実施。
- ・圏域ごとに核となる人材の発掘、育成。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

富山県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

<b>【目標1】</b> ・ピア・フレンズ派遣による医療と地域への支援の充実
<b>【達成状況】</b> ・病院や地域関係者にピアサポーター（ピア・フレンズ）を派遣した。 ・ピア・フレンズ派遣経験者フォロー研修を開催し、派遣経験者同士の情報交換等を行う（3月開催予定）。
<b>【目標2】</b> ・新川圏域の課題への対応、また、新川圏域の今年度の取組内容を他圏域と情報共有し、地域移行支援を波及
<b>【達成状況】</b> ・広域・密着アドバイザーに支援いただき新川圏域の課題に対応した。 ・精神障害者地域移行支援人材育成研修を開催し、構築支援事業を活用した新川圏域の取組みを他圏域に紹介いただいた。
<b>【目標3】</b> ・各圏域の地域移行の核となる人材の育成、地域での精神障害に関する理解の促進
<b>【達成状況】</b> ・保健医療福祉介護の関係者を対象に精神障害者地域移行支援人材育成研修を開催した。過去4年間の各圏域の地域移行の取組み経過・実践結果を振り返り、今後、各圏域で地域移行を進めていくための目標や取組みの方向性を検討した。 ・精神障害者へのサービス提供の機会が少ない障害福祉サービス事業所や地域包括支援センター等の職員を対象に、精神障害者支援人材育成研修を開催した。

2. 平成31年度取組方針

1 構築支援事業等を活用して圏域における地域移行推進に向けた取組みの強化
2 精神障害者地域移行支援人材育成研修で検討した各圏域の今後の目標や取組みの方向性等を基に、各圏域で地域移行推進に向けた取組みを実施

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

石川県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ 地域移行支援における関係機関の役割を具体的に明確化し共有する

【達成状況】

- ・ H30.8.9 地域生活支援事業における広域アドバイザー等連絡会開催  
広域アドバイザー及び県密着アドバイザーによる現地支援（各圏域の評価・助言）を受け、関係機関の役割を整理した。
- ・ H30.10.4 石川県地域生活支援連携会議に向けての企画会議実施。  
各圏域現状を共有し課題を整理。  
地域移行支援に向けて各圏域での人材育成について協議。  
グループワークの内容を協議し役割分担を把握

【目標2】

- ・ 地域移行の進め方と圏域における連携体制を構築し、実践していく
- ・

【達成状況】

H30.11.6 石川県地域生活支援連携会議開催

圏域ごとの病院、相談支援事業所、市町など関係機関が目的を一つにして、それぞれがどういう役割を果たしてしていくことを意識するため、人材育成プログラムについてのグループワークを実施。

実際の退院支援チームを市町で作成し、それにあたって、圏域や市町の中でどのように取り組むかを提起し、共有した。

【目標3】

- ・

【達成状況】

- ・

- ・

2. 平成31年度の実行方針

- ・ 各圏域（市町ごと）の地域生活支援における基盤整備及び連携体制構築を図る。
- ・ 各圏域（市町ごと）の人材育成の基盤整備を図る。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

福井県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

精神障害者の地域移行にも対応できる人事育成

**【達成状況】**

- ・ワーキング委員による研修の企画等 3回
- ・研修会（講義・演習）を開催し109名参加
- ・
- ・

**【目標2】**

地域における連携強化

**【達成状況】**

- ・保健所を単位とした連携会議の開催
- ・圏域の自立支援協議会（部会等）への参加
- ・
- ・

**【目標3】**

精神障害者の退院後支援の体制整備

**【達成状況】**

- ・医療機関、相談支援事業所、保健所、市町を対象とした退院後支援に関する研修会の開催
- ・退院後支援実施に向けて、県のルールを決定
- ・国のガイドラインに基づいた退院後支援の実施
- ・
- ・

2. 平成31年度 of 取組方針

- ・県の課題分析
- ・福井県の地域包括ケアシステム構築について、保健所、市町等と取り組みの方向性について協議
- ・
- ・

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

山梨県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ 1. 障害保健福祉圏域及び市町村ごとの協議の場の運営と支援体制の構築を図る

【達成状況】

- ・ 県自立支援協議会地域移行部会において、地域移行推進に向けた研修会の内容検討、保健所と協議会の内容等について協議を重ね、全県の状況把握に努めた。
- ・ 市町村ごとの協議の場の運営と支援体制の構築については次年度具体的な取組とする。

【目標2】

- ・ 2. ピアサポーターの活躍の場の拡大を図る

【達成状況】

- ・ 地域移行に積極的に取り組むことができるピアサポーターの養成、ピアサポーターを支援する事業所向け研修会を開催し、活動の拡大について協議した。
- ・ 全県のピアサポーターを対象に連絡会を開催し、各ピアサポーターの資質の向上及び各圏域の取組の情報交換機会を設定した。

【目標3】

- ・ 3. 地域移行推進に向けた研修会を実施する

【達成状況】

- ・ 平成30年12月3日に地域移行関係者研修を開催し、地域移行支援等に従事する関係者に対して精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築をテーマに研修会を実施した。事例検討を行い各地域の社会資源について考える機会となった。各圏域の協議の場において研修会の内容を連動したものとなるよう工夫が必要である。

2. 平成31年度取組方針

1. 障害保健福祉圏域及び市町村ごとの協議の場について、運営のあり方を検討し、地域の支援体制の構築を図る
2. ピアサポーターの活躍の場の拡大を図るため、具体的な方策を検討する
3. 地域移行推進に向けた研修会を継続して実施する

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

長野県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・圏域の地域移行・地域定着支援の取り組みが促進されるよう、情報交換等の機会を持つ。

**【達成状況】**

- ・5月、10月、2月（予定）に保健福祉事務所や障がい者総合支援センター等の担当者を参集し、連絡会を実施。圏域ごとの取り組みに関する情報交換や事例検討等を行った。

**【目標2】**

- ・ピアサポートの更なる普及啓発を行う。

**【達成状況】**

- ・新たにピアサポーターの養成を行った圏域あり。ピアサポーターの活躍の場が広がっている。
- ・当事者団体に『障がい者支え合い事業』を委託し、当事者による相談支援活動および普及啓発活動を行った。

**【目標3】**

- ・精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議を行う。

**【達成状況】**

- ・県としては、5月、3月（予定）に精神障がい者地域移行支援部会を開催し協議を行った。
- ・各圏域においても協議の場を設けたり、研修会を実施したりとシステム構築に向けて取り組んでいる。

2. 平成31年度の実行方針

- ・今年度と同様に実施予定
- ・システムの構築に向けて、具体的な事業の展開に向けて協議を行っていく。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

岐阜県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

・第2期岐阜県障がい者総合支援プランで掲げた「平成32年度末までに全ての圏域（5つ）ごとに、保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置する」ことを実現するために、既存の会議や専門部会等を整理する。

【達成状況】

・県内7つの保健所で開催している企画会議や地域移行推進会議を活用し、精神保健にかかる専門部会を設置することとした。

【目標2】

・

【達成状況】

・  
・  
・  
・

【目標3】

・

【達成状況】

・  
・  
・  
・

2. 平成31年度の実行方針

・県内7か所で、医療機関、地域援助事業者、市町村などの連携による支援体制の構築について協議することとし、障害福祉圏域の5圏域での開催方法について検討する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

静岡県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ピアサポーターの環境整備に係る方針の決定

【達成状況】

- ・平成30年度より県自立支援協議会地域移行部会にピアWGを設置し、静岡県のピアに係る方向性について検討し、決定した。来年度以降はこの方向性の実行に向けて取組んでいく予定。

【目標2】

- ・地域移行支援申請件数の増加

【達成状況】

- ・地域移行支援支給決定件数のデータは年度末に各市町へ照会し集計しているため、現在は把握できていない。

【目標3】

- ・障害と介護の連携強化

【達成状況】

- ・平成30年より県自立支援協議会地域移行部会の委員に地域包括から参加してもらっている。
- ・各圏域において、障害と介護の連携に係る取組を実施しているため、顔の見える関係を構築しつつある。

2. 平成31年度の実行方針

- ・県自立支援協議会地域移行部会において、全県統一のピアサポーター養成研修を県内3カ所で開催する予定。
- ・精神障害者地域移行地域定着推進研修（全県研修）のテーマを「ピア」として実施予定。
- ・県宅建協会から県自立支援協議会地域移行部会に委員として参加いただく予定。住宅確保について推進されることが期待される。
- ・毎年各圏域において作成するロードマップに、各圏域の目標とする長期入院者数（〇人減少させる）を記載することにより、目標を視覚化・明確化させることにより障害福祉計画の目標達成を目指していく。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

愛知県（平成31年2月7日現在）

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・「精神障害者地域移行・地域着推進協議会」での検討を通じて、「コア機関チーム」の構成と役割分担を整理し、県内の各地域事情に応じたチームの育成を図る。

【達成状況】

- ・平成30年8月3日、保健医療福祉の各分野の支援者及び当事者、家族等の委員の参加により「精神障害者地域移行・地域着推進協議会」を開催。
- ・県全体の取組状況として「ピアサポーター活動等による地域移行支援事業」、各地域の取組状況として「保健所の地域移行に関する取組」「各市の地域移行支援に関する状況」について、それぞれ検討を行った。
- ・特に「ピアサポーター活動等による地域移行支援事業」については、事業評価の必要性について御意見を頂き、アンケート調査を来年度に実施する事を検討している。

【目標2】

- ・地域移行支援研修会を「コア機関チーム研修」と「医療・福祉連携合同研修」の2本立てで継続開催する。

【達成状況】

- ・コア機関チーム研修開催予定  
開催日：平成31年2月15日（金）  
内 容：講義「地域包括ケアシステムについて」  
講師 社会福祉法人蒼溪会 有野氏  
グループワーク「地域移行を推進するために、何が必要か考える」等  
参加者：定員50名（コア機関チーム）
- ・医療・福祉連携合同研修開催予定  
開催日：平成31年3月4日（月）  
内 容：講義「地域包括ケアシステムについて」  
講師 社会福祉法人蒼溪会 有野氏  
演習「病院と指定一般相談支援事業所が連携した地域移行の進め方」等  
参加者：定員130名（市町村担当者、精神科病院職員、相談支援事業所職員等）

【目標3】

- ・ピアサポーターの養成研修を開催し、養成されたピアサポーターによる院内プログラムを実施する。

【達成状況】

- ・平成30年11月12日にピアサポーター養成研修を実施。69名（うち当事者32名）が受講。
- ・平成30年9月7日にピアサポーターフォローアップ研修を実施。39名（うち当事者27名）が受講。
- ・昨年度からの養成者を含むピアサポーター63名により、精神科病院において、ピアサポーターが自らの体験談を話し、入院患者の地域生活への意欲を喚起する院内プログラムを実施。

2. 平成31年度の取組方針

- ・「精神障害者地域移行・地域着推進協議会」において、県全体及び各地域の取組を確認し、地域移行支援体制の整備を促進する地域の好事例等を検討する事により、県内の各地域事情に応じた支援体制の整備を図る。
- ・地域移行支援研修会を「コア機関チーム研修」と「医療・福祉連携合同研修」の2本立てで継続開催する
- ・ピアサポーターの養成研修を開催し、養成されたピアサポーターによる院内プログラムを実施する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

三重県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

<b>【目標1】</b> ・ケア会議を軸とした精神科医療機関、市町ほか関係機関との連携強化
<b>【達成状況】</b> ・三重県精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会において、ケア会議を軸とした精神科医療機関、市町ほか関係機関との連携に取り組んでいる圏域の状況を確認。 ・精神障がい者アウトリーチ事業に取り組む圏域では、ケア会議を軸に精神科医療機関、市町行政機関、福祉サービス事業所が地域課題を検討している。
<b>【目標2】</b> ・高齢者施策等他施策との連携強化
<b>【達成状況】</b> ・三重県精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会において高齢者福祉分野と連携した先進的な取り組みを行っている圏域の現状に関する情報共有を実施。
<b>【目標3】</b> ・市町における地域包括ケアシステム構築にかかる協議の場づくりの検討
<b>【達成状況】</b> ・三重県精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会において精神障害にも対応した地域包括ケアシステムチェックリストの内容検討及び確定作業を実施。
<b>【目標4】</b> ・ニューロングステイを生まない地域移行体制づくり
・「医療と福祉の連携研修会」を開催。精神科医療機関、行政、福祉サービス事業所等が対象であり、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する学習及び、当事者からの体験発表・グループワークを通じてニューロングステイを生まない地域体制について実践につながることを目的とした研修を実施。
<b>【目標5】</b> ・精神科クリニックや一般医療との連携
<b>【達成状況】</b> ・「みえ精神科クリニックの会」の総会へ県庁担当者が訪問し、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムに関する説明及び、協力依頼を実施。 ・県内2カ所において、精神科病院と総合病院の連携モデル構築のための準備作業の実施。

2. 平成31年度の実行方針

・ケア会議を軸とした精神科医療機関、市町ほか関係機関との連携強化 ・高齢者施策等他施策との連携強化 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムチェックリストを使用し、各圏域（市町）での取組状況の確認 ・ニューロングステイを生まない地域移行体制づくり ・精神科クリニックや一般医療との連携
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

滋賀県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・ 障害福祉圏域毎の体制整備

**【達成状況】**

- ・ 「滋賀のみんなでつくる地域精神保健医療福祉チーム事業【(県名称) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業】 県内推進チーム会議を開催し、各圏域での取組状況の報告や各種団体での取組報告等の実施
- ・ また、各圏域において同様に多職種多機関の職員で構成する会議を開催し、県内推進チーム会議での情報に関する共有や圏域内での取組状況についての確認、研修会の企画等の実施

**【目標2】**

- ・ 多職種連携研修会の開催

**【達成状況】**

- ・ 全7障害福祉圏域で研修会を実施
- ・ 精神科病院内での開催等、病院職員が参加しやすいよう開催会場等工夫をして実施
- ・ 障害福祉圏域内の医療機関や地域支援機関の見学会等の実施
- ・ 事例検討会の実施

**【目標3】**

- ・ ピアサポート体制の整備

**【達成状況】**

- ・ 保健所、相談支援事業所担当者会議において、ピアサポーターの活用に関する取組状況等について確認を行っている。
- ・ ピアサポートフォーラムの共催を団体支援

2. 平成31年度取組方針

- ・ 障害福祉圏域毎の「滋賀のみんなでつくる地域精神保健医療福祉チーム事業」の更なる体制整備の充実
- ・ 障害福祉圏域毎の多職種連携研修会充実と定例開催の定着
- ・ ピアサポート活動への更なる支援

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

大阪府

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・平成29年度から「長期入院精神障がい者退院促進事業」を実施し、退院の可能性のある患者を把握し、市町村自立支援協議会専門部会等へつなぎ、関係機関が協働で取り組む体制を支援する。

**【達成状況】**

広域で対応する専任の「地域精神医療体制整備広域コーディネーター」により

- ・精神科病院スタッフの地域移行に関する理解促進のため、院内研修会の企画・開催支援を行った。
- ・退院の可能性のある対象者を把握し、市町村の部会等へつなぎ、関係機関の連携・協力によるケース検討を実施した。

**【目標2】**

- ・府の協議の場において、市町村協議の場の立ち上げ支援を検討する。

**【達成状況】**

- ・「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」にかかる市町村協議の場の設置・運営支援のための手引きを作成し、府内市町村に配布した。

2. 平成31年度の実行方針

- ・「長期入院精神障がい者退院促進事業」を継続実施し、地域移行のネットワーク構築を目指す。
- ・「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」にかかる市町村協議の場の設置・運営を支援する。
- ・圏域協議の場の全保健所圏域での立ち上げを目指す。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

兵庫県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】** 各圏域における精神科病院と行政、地域援助事業者との連携体制の強化を図ることにより、精神科病院の長期入院患者精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。

**【達成状況】**

- ・各圏域において実状に応じた形での協議会を開催。
- ・長期入院者の地域移行については630調査で比較（参考 29：4,468人、30：4,403人 ※神戸市除く）
- ・地域定着の指標としては精神保健福祉資料の再入院率で比較  
（参考 27年度再入院率 3ヶ月：23%、6ヶ月：31%、12ヶ月：38%  
28年度再入院率 3ヶ月：22%、6ヶ月：30%、12ヶ月：38%）

**【目標2】** 地域移行支援、地域定着支援を推進するための地域毎の連携体制やピアサポーターの活用状況、活動の場（仕事量）の地域差解消を目指す。

**【達成状況】**

- ・依然、ピアサポーターの活用状況や活動の場、活動内容には地域差がある。
- ・活動体制についても、雇用、ボランティア、研修会講師等の単発的な依頼等、さまざま。

**【目標3】**

・

**【達成状況】**

・  
・  
・  
・

2. 平成31年度の実行方針

1. 各圏域における精神科病院と行政、地域援助事業者とのさらなる連携体制の強化
2. 圏域ごとの長期入院患者の削減目標に向けた取り組みの推進。
3. ピアサポーターを活用した地域移行の取り組みの推進。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

奈良県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ピアサポートの活用に係る事業

【達成状況】

- ・地域事業所等の職員と利用者が毎月ピアサポートについて学習会を開催し、今後の取組について話し合いを進めており、今年度中には具体的な養成方法等について一定の結論を得る。
- ・
- ・

【目標2】

- ・地方公共団体による精神障害者の退院後支援事業

【達成状況】

- ・ガイドラインで示された内容を踏まえ、県マニュアルを作成し、精神科医療機関と保健所が実際の事例で検証を重ねており、平成31年度から実施できるよう調整を図っている。
- ・
- ・

【目標3】

- ・

【達成状況】

- ・
- ・
- ・
- ・

2. 平成31年度取組方針

- ・奈良市圏域以外の圏域で、医療・保健・福祉の協議する場が新たに設置されたことから、奈良市圏域の取組をモデルにして他圏域においても精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を図る。
- ・
- ・
- ・

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

和歌山県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】 県全体、市町村別の地域移行・地域定着支援などの利用状況を把握する

【達成状況】

- ・精神科医療機関、指定一般相談支援事業所あてアンケートを実施（回答率低）
- ・各圏域自立支援協議会毎で地域移行支援、地域定着支援の支給決定数を把握
- ・

【目標2】 県全体の課題について、継続的に共有、検討する場の設定

【達成状況】

- ・地域移行関連の事業所や保健所、県相談支援体制整備アドバイザーなどが集う連絡会を年3回（予定含む）開催。
- ・圏域自立支援協議会の課題を共有する場については、現在別途検討中。

【目標3】 地域移行推進研修の開催

- ・地域移行推進研修の開催
- ・ピアサポーター養成研修の開催

【達成状況】

- ・地域移行推進研修において、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて」をメインテーマとし、その他、地域移行の現状報告やシンポジウム、演習を実施した。
- ・講義と演習を中心に。初級編、フォローアップ編の全2回を開催した。

2. 平成31年度取組方針

- ・地域移行推進研修に加え、精神障害者の特性に関する研修会を開催する（障害福祉＋介護保険分野）
- ・ピアサポーター養成研修の強化（紀南圏域においても初開催）
- ・圏域自立支援協議会との連携強化（協議の場を通じ）
- ・ひきつづき地域移行の実態把握に努める

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

鳥取県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・関係機関の役割の認識及び更なる連携の強化

【達成状況】

- ・県の各圏域において、実務担当者（市町村、相談支援事業所、病院）会議等を開催し、県の障がい福祉計画の目標値や課題等の共有を行った。
- ・各圏域で共有した課題等をとおして、各圏域の実情に応じた取組を実施した。  
※病院での勉強会の実施、地域交流会の開催等

【目標2】

- ・系統的な人材育成の体制づくり

【達成状況】

- ・精神障がい者地域移行支援者研修会を開催した（3回開催）。  
参加者：相談支援事業所、市町村、病院等 参加者：105名（実人数）  
精神障害者支援体制加算の修了証書発行数：73名
- ・精神科訪問看護管理者・従事者研修会を開催した。（参加者 12名）  
※上記2つの研修会については、「地域移行プロジェクト会議」を開催し、研修内容について合意形成を図った。また、次年度の研修会に向けて、今年度の振り返り等を行う協議の場を設ける予定としている。
- ・就労支援事業所等支援者研修会を開催した。（参加者 37名）

2. 平成31年度を取組方針

- ・病院と地域の支援者・行政との連携強化  
協議の場の活用。各圏域の独自の取組の実施。
- ・系統的な人材育成  
病院や相談支援事業所等、精神障がい者の支援に関わる者を対象とした研修の実施。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

島根県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

<p><b>【目標1】</b> 長期入院患者数の減少 【H32年度末までに1, 173人】</p>
<p>(主な取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■協議会の開催 (県、各圏域毎)</li> <li>■地域移行研修会 (県2回、各圏域1回以上) 対象者：医療機関の看護師、精神保健福祉士、相談支援事業所の職員、行政職員 他</li> <li>■精神科病院との検討会 (各圏域)</li> <li>■個別ケース検討会 (各圏域)</li> <li>■難治性精神疾患治療連携体制の整備にむけた打ち合わせ</li> </ul> <p><b>【達成状況】</b> 平成29年 1, 144人 …… 平成36年度末目標値933人に向けて今後の取組を検討</p>
<p><b>【目標2】</b> 市町村の協議の場の設置数の増加 【平成30年度4月：0市町村】</p>
<p>(主な取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■新精神保健福祉資料活用研修 (630/NDB データ) 対象者：行政職員</li> <li>■市町村担当者会議 (各圏域)</li> <li>■市町村における協議の場の設置への支援 (県：1市へ試験的実施)</li> </ul> <p><b>【達成状況】</b> 平成30年1月末時点 0市町村 (方向性が定まってきた市町村数：2)</p>
<p><b>【目標3】</b> 再入院率 (退院後12ヵ月時点) の低下 【平成27年度 41.3%】</p>
<p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■措置入院患者の退院後支援研修会</li> <li>■その他「目標値1」再掲</li> </ul> <p><b>【達成状況】</b> 直近データ：平成28年度 32.9%</p>

2. 平成31年度取組方針

<p>1、長期入院患者数の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■協議会の開催 (県、各圏域)</li> <li>■地域移行研修会 (県、各圏域)</li> <li>■難治性精神疾患治療連携体制整備にむけた試行的取組 (県)</li> <li>■地域移行に関する事業の見直し (県、各圏域)</li> </ul> <p>2、市町村の協議の場の設置数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■市町村における協議の場の設置への支援 (1市へ試験的実施)</li> <li>■市町村担当者会議 (各圏域)</li> </ul> <p>3、再入院率の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■再掲 (1、2のとおり)</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

岡山県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

体制整備や人材育成のさらなる推進を図る

- 1) 地域移行推進検討会のメンバー等を見直し、地域移行に特化した協議の場として単独開催することができる
- 2) 地域課題に応じた研修会が開催できる

【達成状況】(平成31年2月4日現在) 1) 2) とともに達成することができた!

- 1) 検討会メンバーに国事業の広域アドバイザー2名、県の地域移行研修会の企画、実行を担ってきた研修実行委員会(※)のメンバーを新たに加え、今年度3月に開催予定。

※実行委員会構成機関・団体…県相談支援専門員協会、県精神保健福祉士協会、県作業療法士会、多機能型事業所(地域移行促進センター)、県精神科医療センター、県障害福祉課、健康推進課、精神保健福祉センター

- 2) 東備地域自立支援協議会(精神会議)と協働し、同地域における研修会を開催。25名参加。
- 3) その他、体制整備・人材育成に関する取り組み
  - ・アウトリーチ事業、地域移行・地域定着支援事業、ピアサポート支援事業関連保健所・支所連絡会議1回開催、16名参加3月中に2回目実施予定)
  - ・ピアサポート養成研修等事業に関する意見交換会1回開催、13名参加。(派遣事業は直営、委託で実施)
  - ・精神障害者地域対応力向上研修会を開催(県内の市町村、保健所・支所、福祉事務所、精神科病院、訪問看護ステーション等の職員89名参加)
  - ・市町村地域自立支援協議会事務局連絡会議への参画1回、31名参加(2月下旬2回目参加予定)
  - ・精神科訪問看護研修会、岡山県サービス管理責任者研修等への協力。
  - ・他県、他団体からの視察、ヒアリング対応。
  - ・「精神障害者地域移行・地域定着支援事業のまとめ(平成24～30年度)」の作成(現在、作成中)

【目標2】

地域(保健所・支所又は圏域)における協議の場の設置や既存の場の活性化を図る

- 1) 地域において、アクションプランが作成でき、関係者が役割分担しながら地域移行に向けた動きができる

【達成状況】1) 各地域において関係者役割分担しながら地域移行に向けた動きができた!

- ・倉敷地域、備北地域、美作県民局管内における協議の場で、地域移行に関する取組の協議が継続している。
- ・備北地域 地域移行に関する連絡会議3回開催、延73名参加。それに伴う準備会3回開催、延28名参加。
- ・今年度、新たに東備地域と井笠地域において、協議の場が設定され、地域移行に関する取組の協議が始まった。(東備地域自立支援協議会精神会議4回、45名参加。井笠支所管内地域移行連絡会議2回開催、延112名参加。それに伴う準備会3回開催、延34名参加。
- ・井笠支所管内 精神障害者の対応支援に係る管内市町との連絡会議1回開催、22名参加

2. 平成31年度の実行方針

- ・体制整備や人材育成の取組を継続
- ・先進地域で培ったノウハウを引き続き他地域へ横展開
- ・精神障害者地域移行推進検討会の継続開催

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

広島県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・広島県精神障害者地域生活支援推進協議会を立ち上げ、県全体で地域包括ケアシステムの構築に向けたスキームを作成する。

【達成状況】

- ・県の協議会設置要綱を作成し、会議の開催に向けて県精神科病院協会と調整を行った。
- ・3月上旬から中旬に協議会を開催する方向で日程調整中。

【目標2】

- ・全圏域において地域包括ケアシステムの構築に向けた会議を立ち上げることができる。

【達成状況】

- ・県の協議会において事業スキームが整理された段階で、各圏域毎に協議会を立ち上げられるよう調整を行っている。
- ・各圏域毎に関係者との情報共有やデータ整理に基づく課題の抽出、事業概要に関する説明会などを行っている。

【目標3】

- ・地域移行に向けた個別対応を行う事ができる

【達成状況】

- ・退院後支援ガイドラインに基づく退院後支援については平成31年1月から試行的に運用を開始し、4月からは本格的に運用を開始する予定としている。
- ・地域移行支援については、実施可能圏域については実施（←個別給付のこと？）
- ・個別対応まではいかないが、地域サロンを病院で実施する等の交流を行い始めた圏域がある。
- ・

2. 平成31年度の実行方針

- ・「広島県精神障害者地域生活支援推進協議会」において作成したスキームに基づき事業を実施する。
- ・各圏域に「精神障害者地域生活支援推進協議会(仮称)」を立ち上げ、圏域毎に精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスキームを作成する。
- ・地域移行に関する数値目標を設定し、進捗状況について定期的に評価を行う。(県、圏域ともに)

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

山口県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

・圏域連絡調整会議等の協議の場を通じて、圏域の保健、医療、福祉関係者の顔の見える関係づくりを継続する。

**【達成状況】**

・圏域連絡調整会議等を通じて、現状と課題の共有や、事例検討会等を開催し、圏域の課題解決に向けた多職種、機関が協働した取組を実践している。

**【目標2】**

・圏域ごとに課題解決に向けた具体的な取組を始める。

**【達成状況】**

・参考となる取組事例の情報共有を行っている。  
・市町の課題等を圏域で共有し、課題解決に向けた協議を行っている。

**【目標3】**

・地域移行を促進する人材を継続して育成する。

**【達成状況】**

・地域移行に関する研修への受講参加の働きかけを行っている。

2. 平成31年度の実施方針

・圏域連絡調整会議等の協議を通じて、圏域の保健、医療、福祉関係者の顔の見える関係づくりを継続する。  
・圏域毎に課題解決に向けた具体的な取組を行う。  
・地域移行を促進する人材を継続して育成する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

香川県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

高松圏域、小豆圏域をモデル圏域ごとに精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、地域移行支援関係者が協働し、具体的な取り組みについて検討する。

- ・高松圏域は精神保健福祉部会や基幹相談支援センターと連携し、市が主体的に取り組めるようにする。
- ・小豆圏域でも取り組みを行う。

【達成状況】

- ・高松圏域では、65歳未満の1年以上入院患者の面接調査を行い、実態把握、課題の整理や必要な支援の整理ができた。また、地域移行支援を4人利用し随時状況を共有したり事例検討した。市も面接調査や病院ワーキング、研修会に参加し、協力的である。ピアや家族支援についても話し合いを行い必要な取り組みについて検討することができた。
- ・小豆圏域では、毎月、医療・保健・福祉・就労が一体となった連携会議を開催し、協議できる基盤ができた。また、1年以上入院患者の病院面接を行い、実態把握、課題の整理や必要な支援の整理を行うとともに、地域移行支援対象者の検討ができた。そのうち1人は地域移行支援を実施している。

【目標2】

- ・ピアサポーターの養成と活用拡大のための検討を高松と小豆で実施。
- ・ピアサポーターが企画から参画する。

【達成状況】

- ・ピアサポーターが企画の段階から養成研修に参画し、役割をもって3回の研修に参加した。養成研修を高松と小豆で開催した。今年度ピアサポーター登録者は17人で新規で10人登録した。
- ・H30.5～ピアサポーターの方が集う場所も自主運営で開催しており、定着しつつある。
- ・研修をうけたピアサポーターがフォローアップ研修や交流会を行うことで、自分自身の活動を振り返ったり、関心のある支援者の理解や活動の広がりを考える機会となった。
- ・高松圏域の部会や連携会議に当事者の立場でピアサポーターが参加し、ピアサポーターと連携できる機会について話し合うことができた。
- ・支援者への研修をピアサポーター共同で企画運営したり、相談支援事業所でのピアの個別相談を実施したり、ピアが基幹相談支援センターの連絡会に参加したり、ピアの方が活動できる場が広がった。

【目標3】

- ・地域移行支援に関わる人材を育成する。理解者や支援者の拡大と連携の強化。

【達成状況】

- ・地域移行支援に関する研修会（広域ADによる）を行い、支援者の理解と連携強化につながった（アンケートでも90%近くの参加者から「理解が深まった」、「地域移行支援に積極的に取り組みたい」との意見あり）。また、7月に香川での取り組み方針の報告、2月に結果報告を行うことで県内の動きを共有し理解する機会となった。
- ・地域移行支援を実施している事業者同士が情報共有したり、広域ADによる事例検討したり、はじめて実施する事業所にスーパーバイズするなど、スムーズに地域移行支援が実施できるよう支援し、新たに2ヶ所の事業所が地域移行支援を実施した。
- ・随時スーパーバイザー派遣事業を実施し、精神障害者への対応について支援者の理解を深めた。

2. 平成31年度を取組方針

- ・高松圏域、小豆圏域では今年度の病院訪問面接の結果をもって、地域移行支援の利用を検討したり、個別支援を重視した取組みを行う。また、地域の課題に対して優先順位を考えて具体的な取組みを行う。
- ・ピアサポーターに関しては新たなプロジェクトを設置し、研修体制のあり方から検討、実施する。
- ・他の圏域にも広がるように、各圏域で医療、福祉、行政のコアメンバーが年2～3回集まり、広域ADの支援を得ながら各圏域でのワーキングを実施し、圏域でのリーダーとなる人材育成を行う。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

愛媛県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

<b>【目標1】</b> 精神科病院への働きかけ強化
<b>【達成状況】</b> ・病院職員を対象とした退院支援勉強会の開催（3回）
<b>【目標2】</b> ピアサポーターの養成及び活動促進
<b>【達成状況】</b> ・ピアサポーター研修会（3回）及びピアマネージャー連絡会の開催（10回）
<b>【目標3】</b> 関係機関の連携強化
<b>【達成状況】</b> ・全体会に加え、部会として、精神科病院（3回）、指定一般・特定相談支援事業所（2回）、障害福祉サービス事業所（2回）の各連絡会の開催。 ・より身近な単位で関係ができるよう、一部地域で中学校区単位の地区会議を開催し、保健所、精神科病院、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所が集まり、日常生活圏域での課題について、具体的な解決策の話し合いや情報共有を行った。（5月～毎月1回）
<b>【目標4】</b> 支援内容の充実
<b>【達成状況】</b> ・地域移行機づけ支援として、見学体験を行ったグループホーム及び通所支援事業所に一定額を助成する精神障がい者ワンステップ事業を実施。（利用実績：126回（12月末現在））

2. 平成31年度の取組方針

松山圏域をモデル圏域として、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業を活用し、次の取り組みを行い、関係機関の連携強化や支援の充実を図る。
1. 精神科病院への働きかけ強化 病院職員を対象とした退院支援勉強会の開催（3回）
2. ピアサポーターの養成及び活動促進 ピアサポーター研修会（3回）及びピアマネージャー連絡会の開催（6回）
3. 関係機関の連携強化 全体会に加え、部会として、精神科病院、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所の各連絡会の開催（各2回）
4. 支援内容の充実 グループホーム及び通所支援事業所の見学体験を行うプログラムの実施（年100回の利用を想定）
5. 従事者養成研修の実施 障害福祉サービス事業所等の職員に対し、精神障害者の地域移行に関する研修を実施する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

高知県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・圏域での地域移行・地域定着に向けた連携支援体制の充実強化の推進

【達成状況】

- ・退院前カンファレンスを通して、医療機関・市町村（保健福祉分野）・在宅支援関係機関（訪問看護・相談支援事業所等）とともに退院後の生活支援について検討を行った。
- ・管内市町村（主として保健分野）担当課に赴き、精神障害者の受診援助や入院支援及び退院後支援の状況を聴取し、市町村とともに今後の地域生活支援体制づくりに向けての検討を行った。
- ・管内市町村保健福祉分野や地元医療機関、障害福祉事業所等の関係機関で構成する市町村障害者自立支援協議会の相談支援部会等において、事例検討や個別支援検討会の実施した。
- ・先駆的に地域移行・地域定着に向けた実践に取り組んでいる保健所間で情報交換を実施した。その結果、地域移行支援の対象者の把握が難しく、関係機関への協力依頼を始めとした連携体制の構築も困難な現状にあることがわかった。
- ・圏域で、行政、精神科医療機関、福祉関係事業所等の関係機関による定例会及び事例検討会並びに啓発劇の企画・上演
- ・圏域で、活動等に関する広報誌の発行

【目標2】

- ・ピアサポーターの要請及び活動支援
- ・地域移行・地域定着に関する知識の普及促進

【達成状況】

- ・ピアサポーター活動支援の実施（ピアサポート学習会の実施等）
- ・先駆的に地域移行・地域定着に向けた実践に取り組んでいる保健所間で情報交換を実施した。その結果、ピアサポーターの役割を担える対象者が極めて少ないうえ選定も難しく、またピアサポーター養成のためには知識や支援役割習得など様々な要因が必要な実情がわかった。
- ・圏域で、地域移行・地域定着に関する広報媒体（ポスター等）の作成及び広報活動
- ・圏域内にある医療機関において、地域移行・地域定着に向けた啓発劇の上演及び啓発リーフレットの説明
- ・圏域で、連合家族会主催の研修会にて地域移行・地域定着の活動報告

【目標3】

- ・医療機関や地域関係機関等支援者のスキルアップ

【達成状況】

- ・圏域で、精神科医療機関や地域機関等の関係機関による定例会や事例検討を通してのスキルアップ

2. 平成31年度の方針

- ・市町村における保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置及び取組への支援
- ・圏域及び県における保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置と取組の推進
- ・市町村や地域における地域移行・地域定着（ピアサポーターを含む。）のための取組の活性化
- ・圏域内の関係機関間の連携支援体制強化と取組の推進
- ・地域における地域移行・地域定着（ピアサポーターを含む。）のための普及啓発活動の推進

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

福岡県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・ 支援地域協議会の開催

**【達成状況】**

- ・ 本県における精神障がいのある人の退院後支援のあり方や地域移行施策に対する評価及び見直し、改善等の検討のため、医療関係者の他地域での生活を支援する立場の団体に委員となってもらい、福岡県精神保健福祉地域支援推進会議を設置し、平成30年9月に会議を開催した。

**【目標2】**

- ・ 精神障がい者地域定着推進事業（処遇プラン、こころの健康手帳）の取組推進

**【達成状況】**

- ・ 処遇プラン実施件数（H30年4～12月）：17件
- ・ こころの健康手帳実施件数（H30年4～12月）：18件

**【目標3】**

- ・

**【達成状況】**

- ・
- ・
- ・
- ・

2. 平成31年度の取組方針

- ・ 福岡県精神保健福祉地域支援推進会議における精神障がいのある人の退院後支援計画の実施状況や実施上の問題点、各保健所で実施している自立支援関係機関会議での問題点等の検討

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

佐賀県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・全障害保健福祉圏域における精神障害者の地域移行のための協議の場の設置

【達成状況】

- ・5つの障害保健福祉圏域のうち4圏域で協議の場を設置し、地域移行等について協議を実施。
- ・残りの1圏域については設置に向けて準備中。

【目標2】

- ・全障害保健福祉圏域における地域移行関係職員に対する研修会の開催

【達成状況】

- ・5つの障害保健福祉圏域のうち3圏域で地域移行関係職員に対する研修会を開催。
- ・残りの2圏域については開催に向けて準備中。
- ・県全体（本庁）としても地域移行関係職員に対して、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する研修会を開催。

【目標3】

- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた検討の場として佐賀県精神保健福祉審議会の再開

【達成状況】

- ・年度当初は精神保健福祉審議会を県全体の協議の場とする予定であったが、検討の結果、精神保健福祉審議会とは別に新たに協議会等を設置し、そちらを協議の場として位置付けることとなった。
- ・精神保健福祉審議会及び協議会等のいずれも現在開催に向けて準備中。

2. 平成31年度 of 取組方針

- ・協議の場を設置した圏域については、参加者や開催回数を増やすなど、質の向上を図っていく。
- ・協議の場をまだ設置していない圏域及び県については、まずは協議の場の設置を目指す。
- ・精神保健福祉審議会を再開させ、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築状況の評価など、システム構築に向けた検討を行う。
- ・全障害保健福祉圏域において、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に資する研修を1回以上開催する。
- ・平成30年6月に開始した措置入院者退院後支援事業について、措置入院者への面接回数を増やすなど、質の向上を図り、平成30年度より支援対象者の数を増やすことを目指す。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

長崎県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・市町、圏域、県の協議会が連動した取組みを行うことができる

【達成状況】

- ・市町の自立支援協議会へ県立保健所も委員として参画。圏域においては、保健所において関係機関での協議を行い、市町の課題の共有、圏域における協議内容について、県の自立支援協議会地域移行部会において課題を整理し、今後、協議を行う予定。
- ・前年度の地域移行部会の協議内容についても保健所へ報告するなど連動した取組みを行っている。

【目標2】

- ・圏域間の情報交換の場を設け、圏域の取組み差の解消を図る。

【達成状況】

- ・中核市（2市）、県立保健所（8保健所）長崎こども・女性・障害者支援センター担当者会議を開催し、各圏域における取組み状況を報告し合う等、情報交換を行った。
- ・精神障害者支援に関わる圏域の関係機関職員、保健所担当職員、障害福祉課、長崎こども・女性・障害者支援センターを対象とした研修会を開催し、特色ある3圏域における官民協働の活動報告を通して、他圏域の取組みを知り、情報交換を行った。

【目標3】

- ・ピアサポーターの活用促進を図る。

【達成状況】

- ・当事者力等スキルアップ講座を開催し、37名参加。当事者力活用に関する国の動向（地域包括ケアシステム）や制度の理解を深めると共に、ピアの役割、活用等について意見交換を行なった。
- ・ピアの人材登録・人材派遣を行い32名登録。病院等での体験発表を行なった。
- ・その他、保健所主催での養成研修等を実施するなど地域の実情に合わせた取組みを実施

2. 平成31年度取組方針

- ・障害福祉計画を踏まえ、市町、圏域、県の協議の場の活性化、連動した取組みを行う。
- ・共通認識を図れるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた評価指標を作成する。
- ・ピアサポーターの活用促進を図る。
- ・病院、診療所、訪問看護ステーションについて、精神科医療機能を明確化に向け、関係者との協議を行う。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

熊本県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

・障がい圏域ごとに、保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置し、地域移行の仕組みづくりに携わる精神科医療機関、地域サービス事業者、市町村等の連携体制を構築する。

【達成状況】

・年度当初は、協議の場を設置している圏域は、10圏域中3圏域だったが、8圏域に増加した。  
・残りの2圏域についても、今年度に準備会議を開催し、圏域での協議の場設置に向け取り組みを進めている。  
・県の協議の場の設置についても、年度内設置に向け準備中。

【目標2】

・精神障がい者の地域移行推進のための人材育成として、精神障害者地域移行支援関係職員研修を開催し、精神障がい者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進する。

【達成状況】

・H30.12.11に、国の広域アドバイザーの徳山氏を講師に招き、「精神障がい者地域移行関係者研修」を開催。参加者は、ファシリテーター等を含め176人。  
・研修実施のために、企画委員会を4回開催。  
・関係職員研修開催前のH30.10.26に、上記関係職員研修のサポート役となる「ファシリテーター研修」を国の広域アドバイザーの東氏を講師に招き開催。各圏域のリーダーを担う「ファシリテーター」を49名育成。その結果、病院看護師のファシリテーターが増加した。

2. 平成31年度の実行方針

・H32年度全圏域及び市町村の協議の場の設置に向け、現在未設置の2圏域の設置に向け、保健所へ情報提供を行う等引き続き支援を行う。  
・県の協議の場が、順調に稼働できるよう関係機関と連携を図りながら体制づくりを図る。  
・精神障害者の地域移行支援関係職員研修事業を継続して行う。  
・県内での措置入院者の退院後支援事業が開始することから、各圏域の協議の場で、措置入院者の地域移行の推進について検討を行う。  
・県の協議の場で、地域の課題の検討を行う。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

大分県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・措置入院者等への退院後支援計画の作成と支援の充実

**【達成状況】**

- ・ガイドラインに基づいた県マニュアルの作成、運用開始（平成30年9月）
- ・マニュアル運用のための研修会を開催（管理者向け、実務者向け）
- ・その他関係機関との協議の場で運用方法について検討

**【目標2】**

- ・ピアサポーターの養成

**【達成状況】**

- ・養成研修を開催し、県のピアサポーターとして登録。
- ・今後は活動の場や、派遣時の調整方法等を地域移行ワーキング（県自立支援協議会地域移行部会下部組織）にて検討予定。

**【目標3】**

- ・居住の場の確保

**【達成状況】**

- ・実態把握のための居住支援のアンケートを実施。
- ・取り組むべき課題やニーズの把握ができ、県担当課間で協議ができた。
- ・今後も、居住支援協議会と連携し、部会等でより具体的な検討を行う予定。

2. 平成31年度の実行方針

- ・ピアサポーターの養成・活用
- ・居住の場の確保

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

宮崎県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・ピアサポーターの活用事業の拡充

**【達成状況】**

- ・平成30年度からピアサポーター活用事業の委託先を1か所追加し、9か所の地域活動支援センターにて事業を実施することができた。

**【目標2】**

- ・各圏域における協議の場を通じた地域包括ケアシステムの構築

**【達成状況】**

- ・各保健所に設置している地域移行支援協議会にて、各圏域における支援体制の構築に向けての協議をおこなった。また、地域の支援者や住民に対して講演会を開催し、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んだ。

**【目標3】**

- ・地域移行の推進のための人材育成

**【達成状況】**

- ・県内の支援者を対象とした、実務者研修・多職種連携研修会を企画し、平成31年3月9日に開催する予定である。

2. 平成31年度の実行方針

- ・ピアサポーター活用事業の継続
- ・各圏域における地域包括ケアシステムの構築推進
- ・地域移行の推進のための人材育成研修の充実
- ・措置入院者の退院後支援の充実

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

鹿児島県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ピアサポーターの養成・活用

【達成状況】

- ・鹿児島市でピアサポーター養成講座を開催（平成30年7月15日～16日）し、56名が修了
- ・修了者のうち、20名が県が委託する指定一般相談支援事業所での面接を受け、5名を採用
- ・採用された5人が、ピアサポーターとして精神科病院での体験談発表や地域移行支援に従事

【目標2】

- ・精神障害者の地域移行支援に関する研修の開催

【達成状況】

- ・平成31年1月31日に精神障害者地域移行・地域定着推進研修会を開催
- ・参加者208名（相談支援事業所114名、精神科病院57名、行政関係者37名）
- ・相談支援事業所の参加者に対しては、研修会終了後、受講修了証を発行（精神障害者支援体制加算を受けるために必要な「精神障害者の障害特性及びこれに応じた支援技法等に関する研修」に該当）

【目標3】

- ・地域移行支援利用者目標値 73名

【達成状況】

- ・平成30年9月から、事業への協力を表明した10精神科病院でのピアサポーターの体験談発表を実施し、長期入院精神障害者の退院意欲の喚起を図った。
- ・地域移行支援利用者9名（平成31年2月5日現在）

2. 平成31年度の取組方針

- ・ピアサポーターを活用した地域移行支援事業を始良・伊佐圏域（平成29年度）、鹿児島圏域（平成30年度）を除く、3圏域（北薩圏域、南薩圏域、大隅圏域）で実施
- ・各圏域及び市町村における「保健・医療・福祉関係者の協議の場」の設置・運営について、支援を行う。
- ・相談支援事業所、精神科病院及び市町村等の職員を対象とした精神障害者地域移行・地域定着推進研修会を実施

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議  
「事前課題」シート

沖縄県

1. 平成30年度の目標とその達成状況

**【目標1】**

- ・地域移行支援のための連携体制整備

**【達成状況】**

- ・各圏域にコーディネーターを配置し、圏域の実情に応じた地域移行支援の推進を図った（通年）
- ・地域移行推進のための人材育成及び人的ネットワーク作りの取り組みとして、離島も含めた各圏域にて研修事業を実施した（9月、2月、3月）
- ・神障害者地域移行支援連絡協議会にて、医療・保健・福祉分野の情報共有等を行い、自立支援協議会と連携して支援体制整備を図る（3月）

**【目標2】**

- ・ピアサポートの活用

**【達成状況】**

- ・医療機関等に対し、ピアサポーターの派遣を行った（H30上半期の派遣回数実績：25回）。

**【目標3】**

- ・

**【達成状況】**

2. 平成31年度 of 取組方針

- ・地域移行支援のための連携体制整備
- ・ピアサポートの活用
- ・地域移行に携わる支援者のスキルアップを目的とした研修の実施